

鷗うを潜かづぐる歌うた一首 并あはせて短歌たんか

四一五六番

あらたまの 年としゆ行き反がへり 春はるされば 花はなのみにほ  
ふ あしひきの 山やました下とよみ 落おち激たぎち 流ながる  
辟さきた田の 川かはの瀬せに 鮎あゆこ子さ走る 島しまつ鳥とり 鶺鴒うかひとも養伴  
なへ 篝かがりさし なづさひ行ゆけば 我わぎもこ妹子が  
形かたみ見がてらと 紅くれなゐの 八やしほ入そに染めて おこせた  
る 衣ころもの裾すそも 通とほりて濡ぬれぬ